

公共建築物施設群別マネジメントの方向性 各委員からの意見一覧

【施設群 1 高齢者福祉施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

(的場委員)

・「根拠法令」の欄に「任意」とあり、法令上設置が義務付けられていないため、施設を設置するか否かは市町村の判断となるが、静岡市においてそれぞれの施設を行政が設置すると判断したのはなぜなのか、なぜ行政がそのサービスを提供しなければならないのか、根本の部分を押さえる必要がある。市としての考えを明確に説明できるようにしていただきたい。

(狩野委員)

・「マネジメントの方向性」を検討する前提として、利用者側の立場に立つことが重要である。高齢者福祉施設であれば、利用者自らが施設に通うことが困難な方も多いと考えられ、アクセシビリティが重要になる。それらを踏まえ方向性を検討いただきたい。

(竹内委員)

・方向性の一つに「複合化」があるが、施設単体の問題ではない。検討する際は、近隣の施設をすべて示し（地図上）、それぞれの施設の特性等を踏まえ、全体として住民の利便性の向上のためにどうするのが一番いいのかを考える必要がある。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①高齢者生活福祉センター」【継続・複合化】

(的場委員)

・「高齢者生活福祉センター」の提供サービスに通所と入所があるが、入所施設は行政が確保すべきセーフティネットとして継続・複合化が妥当だと考える。しかし、通所の部分は民営化も考えられるため、検討いただきたい。

(土屋委員)

・「高齢者福祉センター」、「養護老人ホーム」は行政に期待するところが大きく、とても必要な施設である。特に「高齢者福祉センター」は山間地であり、民間が参入しないなど、行政だからできる施設のあり方がある。今後、人口減少に伴い施設の利用者数の減少が予想され、廃止や縮小の方向にいきがちだが、十分配慮してほしい。行政サービスを提供し続けることで地域の振興や存続が図られると考えられ、特に福祉の面では行政に期待するところが大きい。山間地が忘れ去られることのないよう、必要な施設は継続していただきたい。

(曾根会長)

・セーフティネットとして設置された施設であることを考慮し、行政がカバーしていかなければならない部分であることを考える必要がある。

「②養護老人ホーム」【継続】

(足羽委員)

・「マーケットの状況」が「民間事業所なし」であり、市（行政）しか運営できないという印象を受けるが、他都市で社会福祉法人が運営している例が多々あるように、民間でも運営は可能である。

以下の各利用用途分類については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

- 「③老人福祉センター」【統廃合・複合化】
- 「④世代間交流センター」【統廃合・複合化】
- 「⑤老人憩の家」【統廃合・複合化】
- 「⑥その他高齢者福祉施」【民営化】

【施設群2 障害者福祉施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類の方向性案について、概ね妥当である。(妥当：8、妥当でない2)

[2. 全体に対する意見]

(足羽委員)

・以前「清水ひびきワーク」等の施設見学をした際に、職員の方たちが「施設に通いたいというニーズがあったときに「空きがない」、「送迎が不可能」など、受け入れが難しい場合でもサービス提供につなげるような取組みをしたい。」と話していたのが印象的であったため、障害者施設については、受入のキャパシティを広げてほしい。また、お風呂を改修したいという話も聞いた。今後施設の統廃合等により資金に余剰が出るようであれば、資金的にも人材的にも投資していただきたい。

(土屋委員)

・障害者自立支援へのサポート等は民間経営の中では、収益性が低く運営に弊害が生まれがちであり、行政のサポートが必須であると思われる。継続事業として、益々の充実と民間との連携、情報提供等を図ってほしい。

(的場委員)

・指定管理者が、その機能を十分発揮できるように、市の関与を必要最小限にし、指定管理者の自由度を高めるように検討するべきである。

(内野委員)

・福祉施設についても例外なしとしてアセットマネジメントを適用するとの主旨とは思うが、生来のものとして弱者の立場に立たされてしまった以上、本来、社会全体として互助すべき性格のものであり、効率化を前提に「民営化」を論じるべきテーマではないと考える。現状、個別事情に応じた需要（地域、当事者の症状や支援家族の状況）が本当に満たされているか疑問であり、むしろ供給不足が実態と思われる。下記の調査など、現状を十分把握してから「民営化」を論じるか検討していただきたい。

・「民間マーケットが確立されている」との記述があるが、この点について、他地域の事例など、個別具体的な民設民営施設の事業状況（立地、補助金を含む事業収支・資産負債状況、施設内容、サービス人員体制、利用者層と利用状況）、及び、地域全体においてサービスという質に関する需給（ミスマッチ）の状況調査（当事者の居場所、選択の余地など）をお願いしたい。

(木村委員)

・大改革は期待すべきではないが、献身的に働く職員諸氏がもっと働きやすい整備環境を整備していただきたい。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

各利用用途分類については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

「①障害者自立支援・生活介護等施設」【民営化・継続】

「②心身障害児支援施設」【民営化・継続】

「③障害者相談・交流施設」【民営化・継続】

「④障害者歯科保健施設」【継続】

【施設群3 保健・医療施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類の方向性案について、概ね妥当である。(妥当：9、妥当でない1)

[2. 全体に対する意見]

(狩野委員)

- ・保健福祉センターや医療施設を統廃合する場合は、アクセス・利便性に十分配慮していただきたい。

(的場委員)

- ・保健・医療施設は、積極的に民営化、統廃合、複合化を進めていただきたい。

(土屋委員)

- ・健康長寿社会が進むにつれ、市民に対しこうした施設の活用を進めることと施設の充実、情報発信は行政の責務だと思う。統廃合を方向性案としている分類があるが、具現化できるのか疑問である。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①保健福祉センター」【継続・統廃合・複合化】

(土屋委員)

- ・保健福祉センターの方向性案に統廃合があるが、具現化できるのか疑問である。

「②急病センター」【継続】

(土屋委員)

- ・急病センターの業務が一般（総合）病院の当番制の救急業務との差別化がわかりにくい、市民の命や安全を守る公共事業として重要だと思う。
- ・民間マーケットの無い部分を公共事業が補うというより、民間の病院もあり、市民の需要もあることから、民間との協働・連携という仕組みができないかと思う。

「③診療所」【継続・複合化・民営化】

(内野委員)

- ・診療所（山間地における医療サービスの提供）について、「民営化」の方向性が示されていることに疑問がある。

「④その他保健・医療施設」【継続・統廃合・民営化】

(土屋委員)

- ・その他保健・医療施設の方向性案に統廃合があるが、具現化できるのか疑問である。

【施設群4 学校教育施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

・各利用用途別分類とも、方向性案については原案どおりとする。

(青少年育成施設・その他教育関連施設のみ)

※今後、学校施設・学校給食センターの意見を踏まえ修正する。

[2. 全体に対する意見]

(竹内委員)

・余剰となった運動場等は他の施設の建設用地として活用するのではなく、運動用地又は空き地として開放が考えられないか。

(木村委員)

・教師の育成・支援にもっと力を入れたい。ソフトぬきにして、ハードだけを議論するべきではない。

(的場委員)

・小中一貫校なども視野に入れて、積極的に統廃合を検討すべきである。

(狩野委員)

・少子化に伴う学校規模の縮小化が進められているが、今後はハコモノより教育の質の向上を図るべきと考える。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

①～③については、審議会での審議対象外とした。

「① 小学校」

「② 中学校」

「③ 高等学校」

「④ 学校給食センター」・・・審議中

「⑤ 青少年育成施設」【統廃合】・・・特に意見なし

「⑥ その他教育関連施設」【継続・複合化】

(足羽委員)

・「特別支援教育センター」は、支援員の配置が最も大事だと考える。支援員の中心は担任をはじめとする教員であるとのことだが、教員は非常に忙しいため、どこまで本格的に支援できるのか疑問。生徒の支援の要否はとりこぼしのないように適切に判断いただきたい。

【施設群5 コミュニティ・生涯学習施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

市民活動・男女共同参画施設の方向性に「継続」を含めるよう修正いただきたい。

[2. 全体に対する意見]

・施設群全体に対する意見・要望は特になかった。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①生涯学習施設」【継続・統廃合・複合化】

(竹内委員)

・提供するサービスの内容が民間のカルチャーセンター等と似ている部分があるので、いずれは民営化も検討いただきたい。

(曾根会長)

・将来的には民営化の可能性も含めて段階的に検討する必要がある。

「②市民活動・男女共同参画施設」【複合化・統廃合】

(曾根会長)

・「市民活動・男女共同参画施設」の方向性が「複合化・統廃合」となっているが、「継続」がないのはいかがか。

(木村委員)

・「市民活動センターは、行政、営利組織では対応できない領域を担う」とあるが、現実はずしもそうでない。実態の把握はきちんとした方がいい。また、「女性会館」について、女性を取り巻く環境は決してよくなっているわけではない。そのような中、女性会館が旧静岡市にしかないというのは、旧清水市の地域に住む女性にとっては非常に利用しにくい。公平性という観点から、旧清水市にも女性会館と同様の機能を持った施設があって然るべきと考える。

(曾根会長)

・個別の議論になってしまうかもしれないが、旧清水市にある既存の施設に女性会館の機能を持たせるということは可能ではないか。

(木村委員)

・個別の施設は今回検討しないにしても、我々のスタンスとしては偏りなく住民サービスを行き渡らせることができるハードであるべきだと考える。女性会館が旧静岡市にしかないというのは問題がないとは言えない。

(木村委員)

・大阪市と仙台市が合理化という名目のもと女性会館を廃止したため、関係者はナーバスになっている部分がある。現在、大阪市では5施設が1つに縮小され、仙台市は市長が女性になったため、理解が進み、いまでは女性の防災などについて、行政も積極的に支援し、共同事業を行っているようだ。そういう意味でも「継続」の方向性を入れておいた方がいい。

(曾根会長)

・「継続」の可能性も排除できない以上、方向性にも入れておいた方がいい。

(足羽委員)

・「はーとぴあ清水」の中には「ボランティア・市民活動センター清水」もあり、業務内容が重複している。「はーとぴあ」は施設も新しいので、ここの統合は十分考えられる。

【施設群6 産業振興施設】

[1. マネジメントの方向性(案)に対する意見]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

(曾根会長)

ビジネスベースでやれるものはできるだけ民間に移行した方がいい。中山間地の施設はなかなかビジネスベースに乗らないことが多いが、支援していかなければならない部分がある。既得権的に継続しているものは見直す必要がある。

(足羽委員)

施設によって認知度に大きな差がある。広く利用してもらうには認知度を高めることが必要で、その手法はこういった施設についてもある。「安倍ごころ」などは利活用の方法を深めていけば面白い施設だと思う。民間の感覚・手法を採り入れ、ぜひ認知度を高める取組を実施していただきたい。

(曾根会長)

サービス提供のあり方を再検討するということが大事である。有効に活用しなければならないという視点と、そもそも必要があるのかという視点の両方を併せ持たなければならない。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「中小企業支援施設」、「勤労者福祉センター」については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

「①中小企業支援施設」【統廃合・民営化】

「②勤労者福祉センター」【統廃合・民営化】

「③都市山村交流センター」【継続・複合化】

(曾根会長)

・民間的な感覚で改善をしていかなければならない。採算性を問わず、ただお金をかけるという考え方では改善されない。プロデューサーのような人を民間から呼ぶこともいいのではないか。

(木村委員)

- ・NPOに委託するというのも一つの方法ではないか。

(曾根会長)

・センスが大事である。当初の設置目的が実現されていない施設であれば、それを現実にするには民間の感覚や経験を活かすことが重要である。

「④その他産業振興施設」【統廃合・複合化・民営化】

(竹内委員)

・「④その他産業振興施設」のみ「サービス継続の必要性を検証した上で」という表現があるが、あまり継続は考えていないように感じられる。

【施設群7 市営住宅等】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

- ・施設群全体に対する意見・要望は特になかった。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①市営住宅」【継続・統廃合・民営化】

- ・「市営住宅」については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった

「②職員住宅」【継続・民営化】

(木村委員)

- ・峰山小学校教職員住宅が、あまりにも辺鄙なところで驚いた。「マネジメントの方向性」に「民営化」とあるが、峰山は梅ヶ島や大川と比べても条件が厳しく、将来的に見ても民営化は難しいのではないかと感じる。効率は悪いかもしれないが、このような小学校があるということに非常に感動したこともあり、ぜひ継続いただきたい。

「③寄宿舍」【継続・統廃合・民営化】

(高橋委員)

- ・「寄宿舍」について、先ほど未成年者の見守り等の観点から単なるアパートでは対応が難しいとのご説明があったが、その場合「民営化」という方向性について疑問を感じる。

(竹内委員)

- ・寄宿舍が定員40名に対し、現在の利用者数は0人、将来的にも数人程度で推移する予測とのことであるため、数人が生活できる程度の規模の一軒家を借り上げるなどの方が効率的ではないかと感じる。

(曾根会長)

- ・山間部にある寄宿舍等は中山間地の活性化ということもある。コストパフォーマンスの問題もあるが、優遇策等も含めて検討いただきたい。

【施設群8 児童施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

(足羽委員)

- ・公的児童施設の充実していただきたい。働く母親を少しでもサポートできる体制づくりを構築していただきたい。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①こども園（旧保育所）」【継続・統廃合・民営化】

「②こども園（旧幼稚園）」【継続・統廃合・民営化】

(的場委員)

- ・子ども園については、統廃合、民営化を進めていただきたい。特に清水区は、施設数が多いので早急に検討を行い、取組を進めていただきたい。

(土屋委員)

- ・待機児童問題を抱える中でこども園については合理的、適正と思われるが、保育士、教員、利用者（保護者）の意識や捉え方の違いで子ども達に影響がないか気になる。また、少子化が進む中でより質の高いサービスが求められているかと思う。統廃合・民営化の方向にその点が求められるのではないかと。

「③児童クラブ」【継続・統廃合・複合化】

(的場委員)

- ・児童クラブは、小学校高学年まで利用できるように施設整備を検討するべきである。

「④子育て支援センター」【継続・統廃合・複合化】

「子育て支援センター」については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

「⑤児童館」【継続・統廃合・複合化】

(土屋委員)

- ・児童館においては利用者数の減少をどう捉えるかで統廃合・複合化の方向が決まるのか。目的とターゲットを明確にしてよい施設運営を望む。市内中島にできた「モンシュシュ」という児童施設（民営）は有料施設だが、子育てのお母さんたちにかなり話題になっている。何かヒントになるものがあるかもしれない。

【施設群9 スポーツ施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・スポーツ施設の方向性に「複合化」を含めるよう修正いただきたい。

[2. 全体に対する意見]

- ・施設群全体に対する意見・要望は特になかった。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①スポーツ施設」【継続・統廃合・民営化】

（曾根会長）

- ・民間においても同様の施設があるのではないか。

（竹内委員）

・「マネジメントの方向性」欄の説明文中には「更新時期に合わせ、近接施設との複合化及び規模縮小により総量縮減を図る」とあるが、赤字の部分には「複合化」が含まれていない。どう理解すればよいか。

（参考：公共資産経営課）

・スポーツ施設は、その特殊性の高さから、他の機能を複合化することが困難ではありますが、例えば、北部体育館は建設時に防災センターを複合化させて整備したという事例もあることから、建替え更新時などのタイミングを図り、他の機能を複合化するという意味で、マネジメントの方向性には「複合化」を追記したいと思います。

（竹内委員）

・他の施設を含め、建設年代別等で総覧的に整理することが必要である。各所管課で対応してはいつまで経っても複合化できない。きちんと整理していただきたい。

【施設群10 レクリエーション施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・観光施設の方向性に「民営化」を含めるよう修正いただきたい。

[2. 全体に対する意見]

(曾根会長)

- ・商業ベースで成り立ちそうなところは、なるべく民間に移行する方がいい。

(曾根会長)

- ・これから南アルプス方面はできるだけ賑わいを創出していきたいということなので、それを念頭にできるだけサービスを充実したり、無人の施設でもデータが集積できるよう考えていく必要がある。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①観光施設」【継続・統廃合】

(狩野委員)

- ・山梨県を通過するJRが運行する鉄道建設が計画されているが、そのことにより南アルプス付近の自然環境が破壊されることが心配される。山小屋の運営も含め、自然環境に影響がないよう配慮いただきたい。

(足羽委員)

- ・観光施設には、ゆららなどのサービス施設も含まれているが、方向性は、「継続」「統廃合」であり、キャンプ場には、「民営化」が含まれている。キャンプ場には「民営化」があり、観光施設に「民営化」がないという意味がよく分からない。

(的場委員)

- ・観光施設には、継続・統廃合と記載されているが、この施設こそ民営化は考えられないのか。観光客を誘致するのは、市の役割であり、施設は民間で行うと考えられる。民間事業所があり、ある程度受け皿もあるため、民営化は考えられるのではないか。

(的場委員)

- ・中山間地域の地域振興などを考えるとき、民営化の方法として、今回はPPPやPFIの考え方もあると聞いている。特に、PPPの場合には、地元で協議会を作り運営していると言っていたので、団体と協力することで民営化が視野に入ってくるのではないかと思う。「ゆらら」はしっかりした施設があるので、民間に譲渡するというのであれば、手を上げる民間もあるのではないか。

- ・ここに民営化を入れなければ、永久に民営化は出てこないのでは、可能性があるのであれば、行革審として民営化の選択肢を残したいと思う。

(曾根会長)

- ・行革審としての姿勢としては、できるだけ民営化していくということが根底にあるので、観光施設についても、可能性があるならば、民営化を入れておいた方がいい。

(木村委員)

- ・山小屋についてだが、非難小屋や無人施設は利用者数が把握できないということだが、登山計画があれば、ある程度は把握できるのではないか。

「②キャンプ場」【統廃合・民営化】

(高橋委員)

・キャンプ場の方向性にある民営化というところだが、前回、審議した時、方向性の内容に「民間等の設置状況等を見ながら・・・」とあったが、キャンプ場には、民営化に係る記載がない。民営化という選択肢があるなら、方向性案の説明に民営化を入れたらどうか。

(曾根会長)

・キャンプ場については、方向性案に民営化の説明を入れていただくことを検討していただきたい。

【施設群 1 1 文化等施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

(内野委員)

・所管の省庁で文科省や文化庁があるが、統廃合・複合化を進める際に国と調整が必要となるのか。

・現在、継続という方向性があるが、この考え方に期限があるのか。

・PFIの調査で、机上論的には行政にメリットがあるが、実際に民間企業ではコンソーシアムを組んだり、プレゼン費用がかかるなど非常に苦労している。進めていくことは、賛成だが、民間のことも考えていかないと手をあげる業者が少なくなってくるのではないが。

・VFMの算定の方法もいろいろあるのだが、本当かなという感じである。

(青木委員)

・マネジメントの方向性にインバウンド拡大とあり、これは海外からの誘客とあるが、利用者数や利用状況の中に記載がない。海外からの方を増やすようなことが記載されていればいいのだが。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「① 劇場・ホール」【継続】

(的場委員)

・劇場・ホールは継続となっているが、文化会館は早急に対応することが必要だが、建設する場合の予算は、所管課で計上するのか、公共資産経営課が枠として計上するのか。予算の裏づけがないと継続といっても絵に描いた餅になってしまう。

・将来、統廃合や継続するにしても、民営化を一度視野に入れ検討するべきである。特に、文化施設は他市でもPFIで建設しているところもあるので、PFIを視野に入れることは民営化を視野に入れることになるので、民営化を入れてもらいたい。

(木村委員)

・グランシップは自主事業が多い印象がある。コストの問題もあるので、ただ自主事業をやればいいのかとは思っていない。

「② 博物館・展示施設」【継続・統廃合】

(高橋委員)

・施設の利用率にかなりばらつきがあり、「かわなび」は非常にわかりにくいところにある。また、需要見込に今後も需要は見込まれるとあるが、これは所管課で判断しているのか、それとも部局横断的に見込んでいるのか。また、マネジメントの方向性に広域的観点から利用率向上を図るとあるが、教育的観点もあるため、部局横断的な側面から利用率向上を図った方がいいと思う施設がいくつかあるがどうか。

「③ 文化財施設」【継続】

(土屋委員)

・文化財施設に民間事業所なしとあるが、西草深の英和学院に「くらしながら保存する」という民間施設がある。古民家では、まだ人が住んでいるところもあるが、そのような民間から得るヒントがあるのではないかと。

「④ 動物園」【継続】

・「動物園」については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

【施設群12 図書館】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①図書館」【継続・複合化】

(曾根会長)

・図書館については、佐賀県武雄市で民間に運営を任せた例がよく話題になるが、静岡市において同様の手法の導入を検討する余地はあるのか。

(曾根会長)

・ブレイクスルーという意味では面白い取組。図書館に限ったことではないが、こういった手法も存在するのだということを知っておいていただきたい。

(曾根会長)

・近年電子書籍が普及してきたことから、本を揃えるのではなく複数のディスプレイで読むことができるようにするという形での提供も考えられる。そういった工夫は考えているか。

(足羽委員)

・市立病院の小児科等と協力して図書を貸し出ししたりはしていないのか。

(中央図書館)

・直接はしていない。ただし、団体貸出は学校以外でも利用できるため、病院から申請があれば貸出は可能である。

(足羽委員)

・県立こども病院の図書室は非常に充実している。そこまで大規模なものでもなくとも、移動図書館等の実施を検討してはどうか。

(木村委員)

・市民の利用実態をもっと把握するなど、マーケットリサーチを進めていただきたい。

・民間委託で図書館運営を行っている事例があるが、さまざまな問題があるので注意いただきたい。

(青木委員)

・電子書籍の導入も考えられるが、紙媒体の情報は捨てがたいところがある。ITは書籍検索には不可欠なので、利用を進めていただきたい。子どもたちはスマートフォンやパソコンに集中しすぎる傾向があるが、ゆったりと読書することが必要ではないか。

(的場委員)

・中山間地域の市民が図書館に触れる機会が増えるよう努力していただきたい。

(土屋委員)

・中央図書館（御幸町）の立地や建物の特徴から中心市街地の活性化事業や民間企業（団体）等との連携で利用率の向上につながると思う。

【施設群13 駐車場・駐輪場】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①駐車場・駐輪場」【駐輪場（継続）・駐車場（統廃合・民営化）】

（的場委員）

・駐輪場の「マネジメントの方向性」に「最適な施設形態について検討する」とあるが、「最適な施設形態」とは具体的に何を指すのか。

（的場委員）

・他都市では駐輪場に指定管理者制度を導入している例もあると聞かすが、そういったことも含めて検討するということか。

（的場委員）

・民間活用なども含めて様々な方法を検討するのであれば、「マネジメントの方向性」が「継続」のみでは一部分しか表せていないのではないか。

（曾根会長）

それによってまちの景観形成などにも影響があると思うので、様々な手法の検討が必要。

（木村委員）

「自転車によるまちづくり」と矛盾しないよう、さらなる整備に力を入れていただきたい。

（青木委員）

・静岡市内でも駐輪場は整備されてきているが、相変わらず放置自転車が多い。まちづくりの観点からも非常に大きな問題である。その要因としては、やはり駐輪場の不足が考えられる。他都市では地下に設置している例もあるが、土地や空間を有効活用し、さらに整備を進めていただきたい。

（青木委員）

東京五輪などのイベントを控え、インバウンド企業が進出し、外国人も来静する可能性が増える。今の駅周辺の放置自転車は目を覆う状況である。協議会で検討したことがあるが、ハード（駐輪場の構造等の検討）・ソフト（管理及び取締り）の両方の手段で、静岡市の顔である駅周辺から放置自転車がなくなる努力をしていただきたいと思う。

（的場委員）

・指定管理者制度の導入を検討するべきであり、マネジメントの方向性にも記載するべきである。また、更なる指定管理者制度の導入を検討するべきである。

・駐輪場について「民営化」を追加するべきである。収益性が確保できる駐輪場は、民間でも運営主体となり得るため、積極的に売却を進め、「民営化」を進めるべきである。

（狩野委員）

・稼働率の低い駐車場・駐輪場は適切な運営方法を含めて、施設の形態について検討していただきたい。

【施設群14 防災・消防施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①防災・消防庁舎」【継続・複合化】

(木村委員)

- ・救急車の活動にまったく触れていないことに違和感があった。災害だけが消防活動だけでなく、人命救助もあるのではないか。

(木村委員)

- ・「設置目的」や「提供サービスの内容」を見ると、急病人の搬送は行っていないかのように受け取れる。急病人の搬送も重要なサービスの一つであり、実態としても災害より急病による出動の方が多くはないかと思う。そういった活動がわかるように表記を変更することはできないのか。

(的場委員)

- ・移転立替検討中の施設については、可能であれば今からでも複合化を検討していただきたい。他の団体では、消防施設に「学童児童所」を併設している所もある。

- ・維持管理コストの削減を推進していただきたい。

(高橋委員)

- ・資料の表記を国民→市民に変更したらどうか。

(土屋委員)

- ・市民の生命や安全に直結する施設事業なので、継続複合化の中で充実した施設を目指してほしい。高齢化が進む山間地などの施設は人口の絶対数では、小さな施設になってしまうかもしれないが、自然災害や住民の高齢化の比率も考慮していただけるといいと思う。

(狩野委員)

- ・災害対応を推進し、最適な施設の運営が望まれる。

【施設群15 庁舎等業務施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

- ・施設群全体に対する意見・要望は特になかった。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①本庁舎」【継続・複合化】

(的場委員)

- ・維持管理コストの削減を推進していただきたい。

(狩野委員)

- ・本庁舎、清水区役所のエレベーター及びトイレの抜本的改修を行う必要性を痛感している。

以下の各利用用途分類については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

「②支所・出先事務所」【統廃合・複合化】

「③書庫・倉庫」【統廃合・複合化】

【施設群16 その他施設】

[1. マネジメントの方向性案について]

- ・各利用用途別分類とも、方向性案については、原案どおりとする。

[2. 全体に対する意見]

- ・施設群全体に対する意見・要望は特になかった。

[3. 利用用途別分類に対する意見]

「①清掃・処理施設」【継続・統廃合】

(土屋委員)

- ・清掃・処理施設については、現在民間事業所もあり、方向性としては「民営化」もあるのではないかと。

(的場委員)

- ・清掃・処理施設は、維持管理費が高くつくので、維持経費の縮減に取り組んでいただきたい。

「②斎場」【継続】

(的場委員)

- ・斎場については、施設の機能も併せて検討いただきたい。
- ・「②斎場」の「マネジメントの方向性」に「民間活力を活用した運営コストの縮減を図る」とあるが、具体的にどのような方法を検討しているのか。(斎場の民間委託化などの検討もある旨を所管課から説明) そうであれば、「マネジメントの方向性」が「継続」だけでは足りないのではないかと。

(曾根会長)

- ・加えるかどうか検討しておいていただきたい。

「⑥その他」【継続・統廃合】

(狩野委員)

- ・井川大日畜舎及び池田作業所は当初の設置目的としては活用されていない施設であることから早急に要検討と考える。

(高橋委員)

- ・「⑥その他」に「公文書館」が含まれているが、これは歴史的公文書を保管する施設だと思われるので、「施設群15 庁舎等業務施設」に分類した方がいいのではないかと。

以下の各利用用途分類については、市が提示するマネジメントの方向性案について、特に意見や要望はなかった。

「③霊園」【継続・民営化】

「④看護専門学校」【継続・統廃合】

「⑤児童相談所」【継続】